

TOSO

インテリアブラインド

リベルタ

取扱説明書No.N-110023

1 版

取扱説明書（施工業者様用・保証書付き）

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
安全にご使用いただくために良くお読みいただき、大切に保管してください。

販売店様・施工業者様へお願い

本書は、お客様が本製品を適切にご使用いただくための説明・注意事項が記載されております。**必ずお客様にお渡しください。**

安全上のご注意（必ずお守りください）

※ 本書は、お買い上げいただいた製品を安全にご使用していただくために、特に注意していただくことを表示してあります。ご使用前に必ずお読みいただき、適切な取扱いをお願い致します。

■ 使用上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

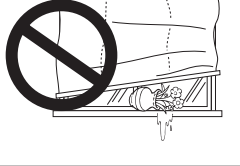
**警告**

- ❌ 製品に物を吊りさげたり、ぶらさがらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。
- ❌ 本製品の電源は、AC100Vです。それ以外の電源は使用しないでください。
- ❌ 本製品は当社指定のスイッチに対応しています。それ以外のスイッチは使用しないでください。
- ❌ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- ❌ 電源プラグのほこり等は定期的にとってください。プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。
- ❌ めれた手で電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



**注意**

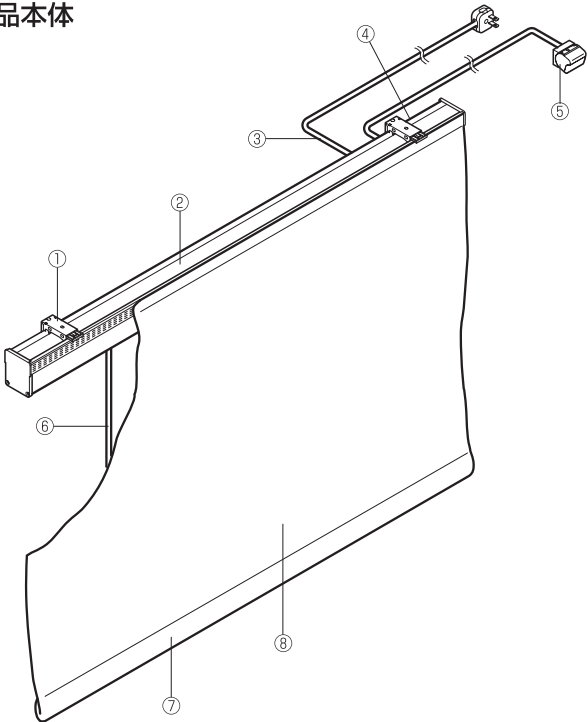
- ❌ 強風のときや雨の時は、必ず窓を閉めるか幕体をたたみ上げた状態にしてください。
- ❌ メカ部の分解や稼動部への注油は破損や故障の原因となりますので絶対におやめください。
- ❌ 製品本体を分解しないで下さい。破損や故障の原因となります。
- ❌ 火のそばでのご使用は絶対におやめください。
- ❌ 昇降（開閉）動作の範囲内に破損の恐れがあるものや操作の障害となるものを置かないでください。



リベルタ（施工業者様用）

製品全体図及び部品名称

■ 製品本体

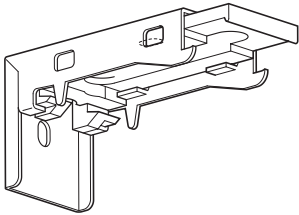


部品名

- ① ブラケット
- ② ヘッドボックス
- ③ 電源コード
- ④ メンテナンスシール
- ⑤ リモコン受光部 01 (オプション部品)
- ⑥ 昇降コード
- ⑦ ウェイトバー
- ⑧ 幕体

■ 付属部品

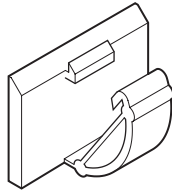
ブラケット



ブラケット用取付けネジ (ブラケット1枚に対して1本入)

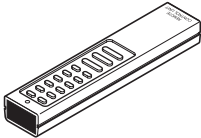


コードクリップ(4ケ)



■ オプション部品（別売）

● リモコン送信機 01 (3台以上に使用します)



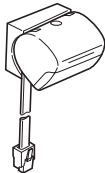
● リモコン送信機 02 (2台以下に使用します)



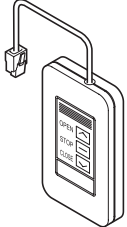
● リモコン送信機 03 (1台の時に使用します)



● リモコン受光部01

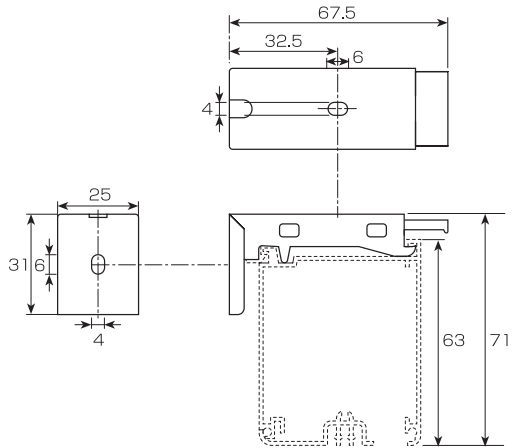


● TIOS-IシングルスイッチCR用（露出）



リベルタ（施工業者様用）

取付け寸法図(mm)



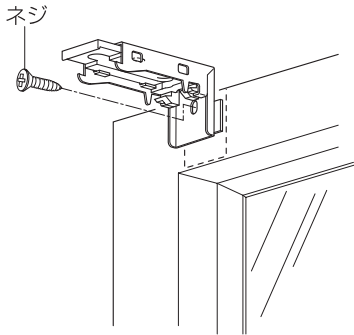
取付け方法

**注意**

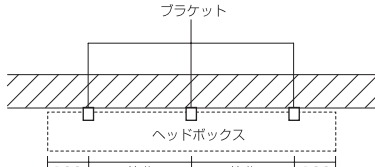
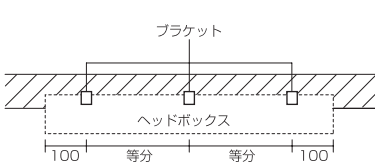
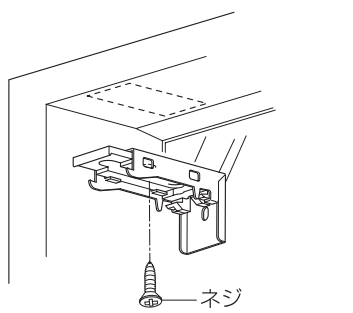
- ❌ ブラケット用取付けネジは木部用です。木部以外には使用しないでください。

■ 取付けの種類

〈窓枠の外側に付ける場合〉

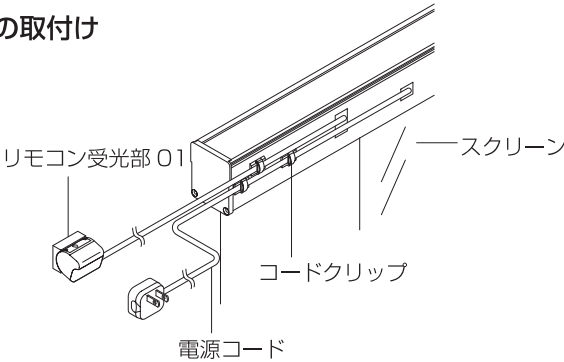


〈窓枠の内側に付ける場合〉



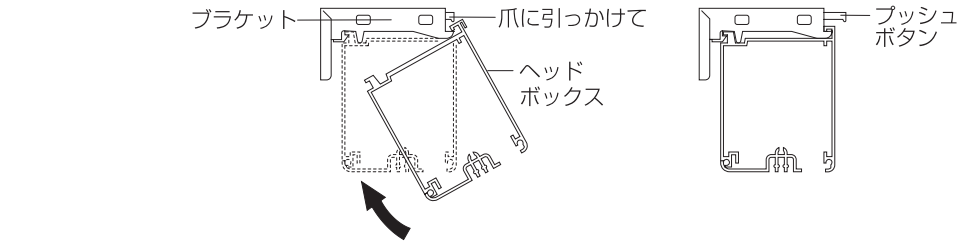
- ブラケットが3個以上の時は、等間隔で固定してください。
- ブラケットを上図のような位置に取付けネジでしっかりと固定してください。

■ コードクリップの取付け



- 電源コード、リモコン受光部01のコード、またはスイッチ用コードを、コードクリップにはさみコードクリップ裏面の両面テープにて、ヘッドボックス裏面に固定してください。
- ※ コード類がスクリーンに干渉しない様に、ヘッドボックスの端部からコードを出す様にしてください。

■ 本体の取付け



- ヘッドボックスをブラケット手前のツメに引っかけてから、ヘッドボックスの奥側を「パチン」と音がするまで押上げてください。

＜本体を取外す場合＞

- ヘッドボックスを手で支えながら、ブラケット手前のプッシュボタンを押してください。その後ヘッドボックスの奥側を下方向に外し、最後にツメからヘッドボックスを外してください。

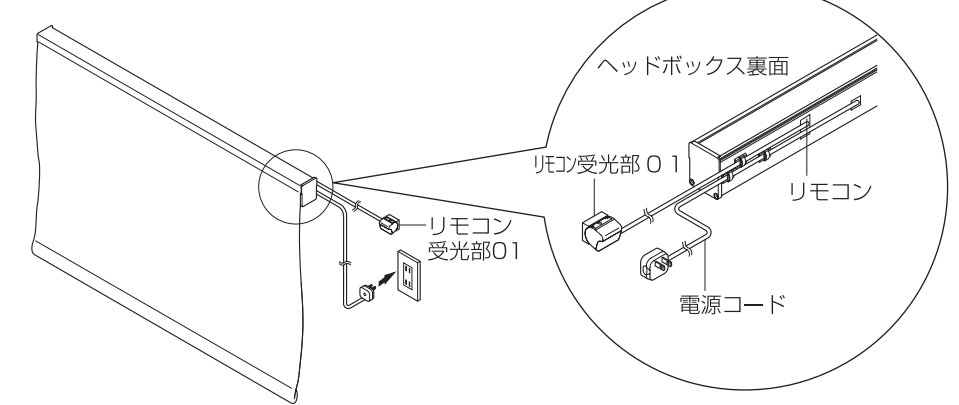
結線方法

ヘッドボックス裏面から出ている電源コードをAC100Vコンセントに差し込んでください。

動作方法については、操作系統（別売）により異なりますので、それぞれの操作系統の取扱説明書をご確認ください。

■ リモコン送信器 01,02,03 の場合

- ※ヘッドボックス裏面の「リモコン」と表記されているジャックにリモコン受光部01のモジュラを差込んでください。



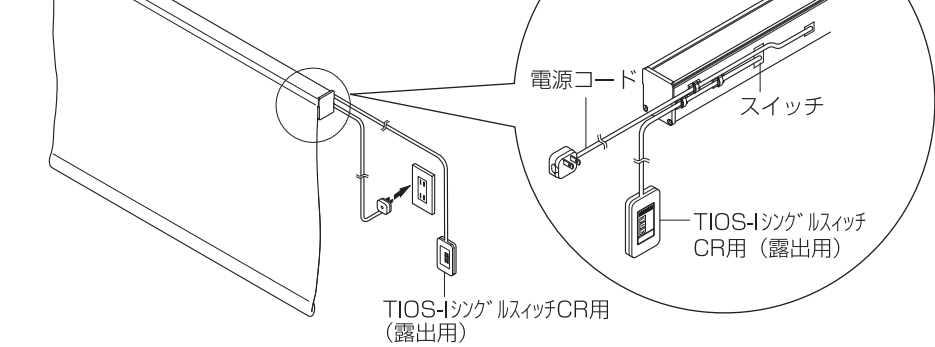
別売「リモコン受光部01」の取付方法

- ① 受光部の矢印部分を持ち、引っ張ってはずします。はずれない場合は⊖ドライバーをミンに差込んではずしてください。
- ② 取付けベースをネジ止めしてください。

※ 受光部をスクリーンに隠れないよう、確実に露出させてください。

■ 3っボタンスイッチの場合(露出用)

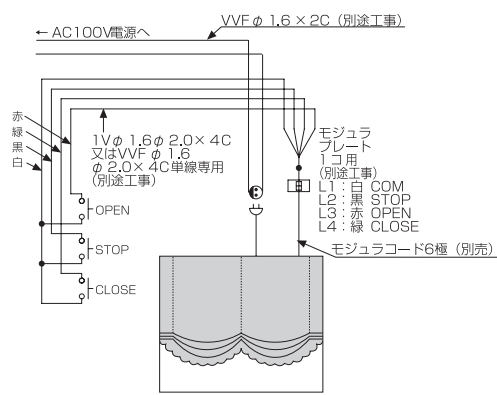
- ※ヘッドボックス裏面の「スイッチ」と表記されているジャックにTIOS-シングルスイッチCR用（露出用）のモジュラを差込んでください。



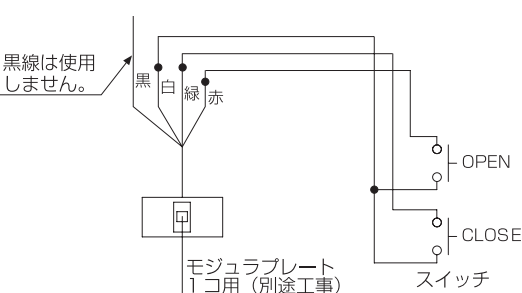
■ 3っボタンスイッチの場合(埋込用)

電源線・操作線の配線は、弊社営業担当者および電気工事業者と十分な打合せを行ってください。上記配線及び結線は電気工事業者へ依頼してください。

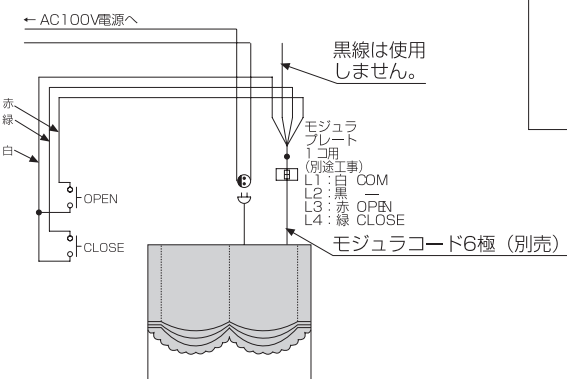
＜単独操作作の場合＞



■ 2っボタンスイッチの場合(埋込用)



- ※ヘッドボックス裏面の「スイッチ」へ結線してください。

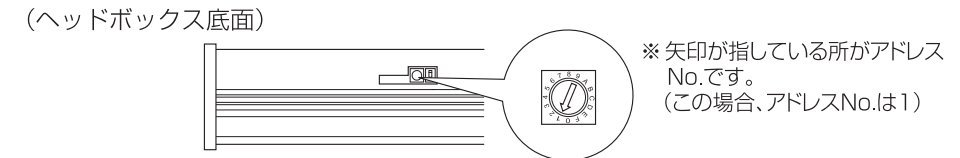


作動確認

- ① 結線に間違いがないか確認します。(リモコン操作の場合、確実にリモコン受光部01が取付けられており、受光部が露出しているか確認してください。)
- ② 100V電源を入れてください。

＜リモコン送信器01を使用して操作を行う場合＞

- ① 「リベルタ」本体ヘッドボックス底面にあるロータリースwitchのアドレスNo.を確認してください。



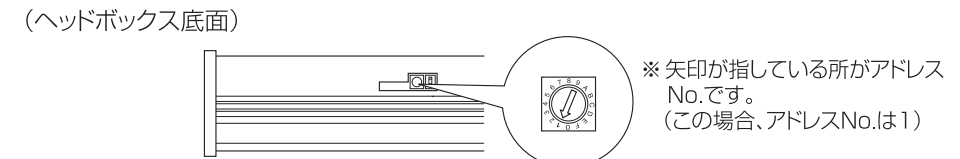
- ② 作動させたい機器に取付けてあるリモコン受光部に向けて下記の手順で操作してください。
 - ① 「CLEAR」を押します。
 - ② 作動させたい機器のアドレスNoを押します。(複数の場合は、連続で押してください)
 - ③ 「OPEN」または「CLOSE」を押します。
 - ④ 動作の途中で止めたい場合は「STOP」を押します。

※ 全機器を同時に作動させたい場合は、
「CLEAR」→「ALL」→「OPEN」または「CLOSE」

＜リモコン送信器02を使用して操作を行う場合＞

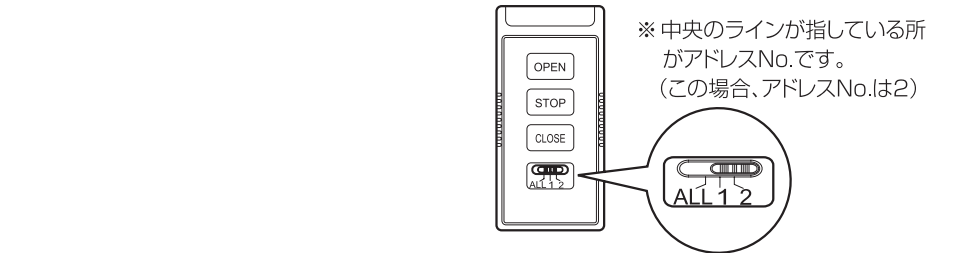
- ① 「リベルタ」本体ヘッドボックス底面にあるロータリースwitchのアドレスNo.を確認してください。

※ アドレスNo.は「1」もしくは「2」に合わせてください。



- ② 作動させたい機器に取付けてあるリモコン受光部に向けて下記の手順で操作してください。
 - ① 本体下部にあるスライドスイッチで、作動させたい機器のアドレスNo.にあわせませす。
 - ② 「OPEN」または「CLOSE」を押します。
 - ③ 動作の途中で止めたい場合は「STOP」を押します。

※ 全機器を同時に作動させたい場合は、スライドスイッチをALLに合せた後「OPEN」または「CLOSE」を押します。



＜リモコン送信器03を使用して操作を行う場合＞

※ 「リベルタ」本体のアドレスNo.の設定に行いません。

- 作動させたい機器に取付けてあるリモコン受光部に向けて下記の手順で操作してください。

- ① スイッチを押すと下記の動作を繰り返します。
〈開(OPEN)→閉(CLOSE)→開(OPEN)→閉(CLOSE)〉
- ② 動作の途中でスイッチを押すと途中で止まります。再びスイッチを押すと今まで動作していた方向に動きます。

※ 一度、全開、全閉にならないと、逆方向へは動きません。

- リモコン送信器 (01,02,03) の詳しい取扱いにつきましては専用の取扱説明書をよくお読みください。
- リモコン送信器 (01,02,03) を初めてご使用される場合は、送信機に電池 (単4×2本別売) をセットしてください。
- 赤外線到達距離は約10mです。到達距離範囲内でご使用ください。

〈3っボタンスイッチを使用して操作を行う場合〉

(TIOS-IシングルスイッチCR用(露出埋込)、3っボタンスイッチ(埋込))

- ① 「OPEN」または「CLOSE」を押します。
 - ② 動作の途中で止めたい場合は、「STOP」を押します。
- ※ 動作の途中で「OPEN」または「CLOSE」を押すと、動作は停止します。

〈2っボタンスイッチを使用して操作を行う場合〉

(2っボタンスイッチ(埋込))

- ① 「OPEN」または「CLOSE」を押します。
- ② 動作の途中で止めたい場合は、「OPEN」または「CLOSE」を押します。

〈2っボタンスイッチを使用して操作を行う場合〉

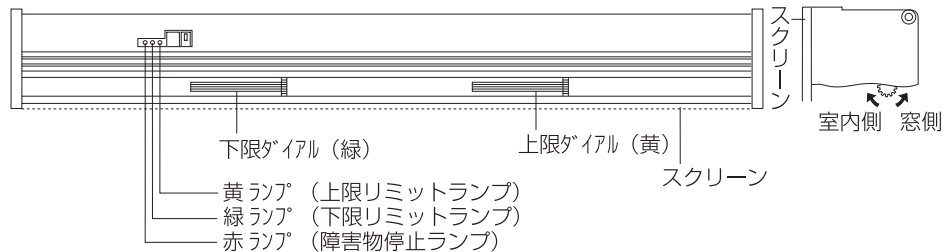
(2っボタンスイッチ(埋込))

- ① 「OPEN」または「CLOSE」を押します。
- ② 動作の途中で止めたい場合は、「OPEN」または「CLOSE」を押します。

上限リミット・下限リミット

※ 「リベルタ」は出荷時に、あらかじめ上限リミット(全開停止位置)、下限リミット(全閉停止位置)を設定してあります。上限リミット位置、下限リミット位置を変更する場合、以下の手順で変更してください。

(本体ヘッドボックス底面)



※ 障害物停止ランプは、スクリーンを持ち上げて昇降コードがたるむと点灯します。

■ 上限リミット(全開停止位置)の変更方法

〈停止位置を下方に変更する場合〉

- ① スwitchの「OPEN」を押し全開にします。この時黄ランプが点灯します。
- ② 設定したい位置まで「CLOSE」を押して下降します。この時黄ランプは消灯します。
- ③ 上限用ダイヤルを室内側に黄ランプが点灯するまで回します。点灯したら完了です。(ダイヤル1回転で約1cm変更します。)

※ 黄ランプが点灯したら、それ以上回さないでください。故障の原因になります。

〈停止位置を上方に変更する場合〉

- ① スwitchの「OPEN」を押し全開にします。この時黄ランプが点灯します。
- ② 設定したい位置まで上限用ダイヤルを窓側に回します。黄ランプは消灯します。(ダイヤル1回転で約1cm変更します。)

- ③ スwitchの「OPEN」を押し、新しい上限リミットまで作動させます。点灯したら完了です。

■ 下限リミット(全閉停止位置)の変更方法

〈停止位置を上方に変更する場合〉

- ① 設定したい位置まで「OPEN」を押して上昇します。緑ランプは消灯します。
 - ② 下限用のダイヤルを窓側に緑ランプが点灯するまで回します。点灯したら完了です。(ダイヤル1回転で約1cm変更します)
- ※ 緑ランプが点灯したらそれ以上回さないでください。故障の原因になります。

〈停止位置を下方に変更する場合〉

※ 出荷時に設定されている全閉位置より下方には設定できません。全閉位置を上方に変更した後の再設定時のみ行ってください。

- ① スwitchの「CLOSE」を押し全閉にします。この時緑ランプが点灯します。
- ② 設定したい位置まで下限用ダイヤルを室内側に回します。緑ランプは消灯します。(ダイヤル1回転で約1cm変更します)
- ③ スwitchの「CLOSE」を押し新しい下限リミットまで作動させます。緑ランプが点灯したら完了です。

異常症状と対策

・ 作動しない	・ 停電しているか、電源プラグが入っていない。 → 電源を入れてください。 ・ スクリーンが何かに引っ掛っている。 → 引っ掛っているものを取除いてください。 ・ 連続して作動させた後、動かない。(モータ温度上昇による回転力低下。) → 再作動させる場合は作動させた時間の3倍以上停止時間を設けてください。(モータ温度が下がれば回転力が回復します)
・ 下降のみ作動しない。	・ 昇降コードが緩んでいる。 → コードの緩みをなくすようコードアジャスタ部で調整してください。 ・ 昇降コードの位置とヘッドボックス内の巻き取りドラムの位置がずれている。 → ヘッドボックス底面から巻き取りドラムを手で移動し、昇降コードの位置に合わせてください。

● リモコン送信機と接続している場合

・ 作動しない	・ 受光部のモジュラプラグが確実に奥まで差し込まれていない。 → 確実に差し込んでください。 ・ 受光部のモジュラプラグが「スイッチ」に差し込まれている。 → 「リモコン」位置に差し込み直してください。 ・ リモコンのアドレスと本体のアドレスが一致していない。 → アドレスNoを確認し、一致するよう設定してください。 ・ リモコン送信器の電池が残り少なくなっている。 → 新しい電池に交換してください。
---------	---

● 3っボタンスイッチ、2っボタンスイッチと接続している場合

・ 作動しない	・ スwitchのモジュラプラグが確実に奥まで差し込まれていない。 → 確実に差し込んでください。 ・ スwitchのモジュラプラグが「リモコン」に差し込まれている。 → 「スイッチ」位置に差し込み直してください。
・ 操作通り作動しない。	「OPEN」ボタンを押すと下降する。 → スwitchやモジュラ部の接続が間違っている。 ・ 2っボタンスイッチと接続しているのに途中停止が出来ない。 → ヘッドボックス裏面の切換スイッチを2っボタン仕様に設定してください。 ・ ボタンを押している間だけ、作動する。 → ヘッドボックス裏面の切換スイッチを3っボタン仕様に設定してください。

製品仕様

項 目	単位	定 格
電源電圧	V	AC100±10%
電源周波数	Hz	50/60
消費電力	作動時	W 15以下
	停止時	W 1 以下
操作電圧	V	5
操作電流	mA	7
使用周囲温度	℃	0～40 (結露しないこと)
重 量	g	メカ重量 1.12 + 0.99 × $\frac{W}{1000}$ + (N+1) × 0.02

製品重量は、幕体により異なります。

項 目	単位	定 格
モーター電圧	V	AC100
定格回転数	rpm	40/48
出力軸定格トルク	Ncm	29.4 (3kgf.cm)
定格動作時間	分	5

■ 重量計算式

製品重量 = 1 メカ重量 + 2 幕体重量		
① メカ重量 (g)	1.12 + 0.99 × $\frac{W}{1000}$ + (N+1) × 0.02	
② 幕体重量 (kg)	プレーン	$\frac{W}{1000} \times \frac{H}{1000} \times \text{生地重量 (kg/m}^2\text{)}$
	シャープ	$\frac{W}{1000} \times \frac{H}{1000} \times \text{生地重量 (kg/m}^2\text{)} + 0.3 \times \frac{W}{1000} \times \frac{H}{1000}$
	バルーン	$\frac{W}{1000} \times \frac{H}{1000} \times \text{生地重量 (kg/m}^2\text{)} \times 2.1$
	オーストリアン	$\frac{W}{1000} \times \frac{H}{1000} \times \text{生地重量 (kg/m}^2\text{)} \times 3.9$

※ W = 製品幅(mm)、H = 製品高さ(mm)、N = スワック数(個)

※ 重量は生地により多少異なります。

幕体の取外し方法(クリーニング等の場合)

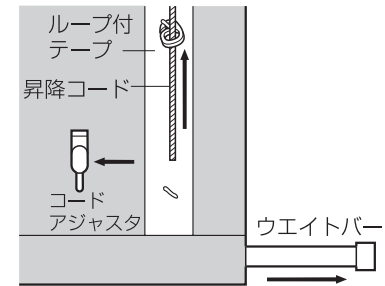
1 幕体を下まで降ろしてください。

2 昇降コード、ウエイトバー、ウエイトの取外し

■ブレーン、シャープの場合

1 ウエイトバーを取出してください。

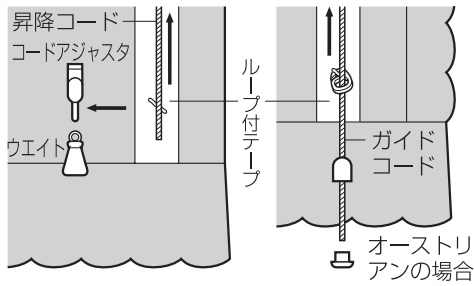
2 最下部のコードアジャスタから昇降コードをほどき、コードアジャスタをループ付テープから取外してください。



■バルーン、オーストリアンの場合

1 最下部のコードアジャスタから昇降コードをほどき、コードアジャスタをループ付テープから取外してください。

※オーストリアンの場合はガイドコードの結び目もほどいてください。

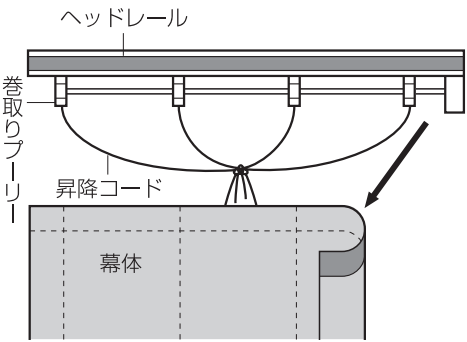


3 幕体の取外し

- 1 ヘッドレールから幕体をはがしてください。
- 2 コード類はヘッドレールから抜けないように軽く束ねて結んでおいてください。
- 3 クリーニング後は逆の順序で取付けてください。

幕体のクリーニングについて

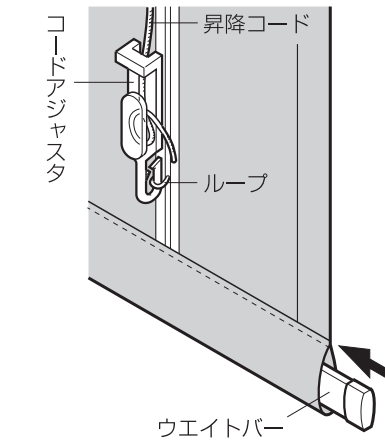
幕体の裏側に表示してある洗濯絵表示ラベルに従ってください。



幕体の取付け方法

■ブレーン、シャープの場合

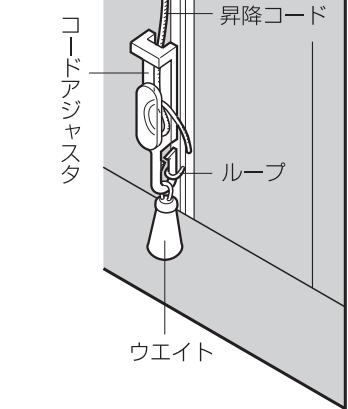
- 1 最下部のループにコードアジャスタを取付けてください。
- 2 幕体の丈のバランスを調整しながら昇降コードをコードアジャスタに巻き付けてください。



3 ウエイトバーを取付けてください。

■バルーン、オーストリアンの場合

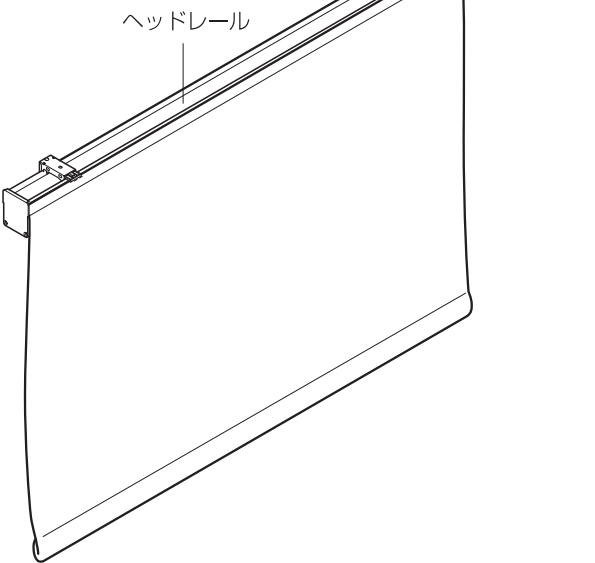
- 1 最下部のループにコードアジャスタを取付けてください。
- 2 幕体の丈のバランスを調整しながら昇降コードをコードアジャスタに巻き付けてください。



3 ウエイトを取付けてください。(大きいウエイト(80g用)は両端のコードアジャスタに、小さいウエイト(40g用)はその他に取付けてください。)

メンテナンスシール

- お買い上げの製品には、ヘッドレール裏面に製品情報を記載したメンテナンスシールを貼付しております。製品に関するお問い合わせや修理等の際にこのメンテナンスシールをご確認ください。



- メンテナンスシールにQRコードが印刷されている場合は、QRコード対応の携帯電話で撮影すると携帯サイトにアクセスでき、製品情報を入手することができます。
- ※シール設置場所・QRコードへの汚れ・破損などにより、読み取れない場合もございますのでご注意ください。

マーキングについてのおことわり

ローマンシェードの一部に縫製加工のマーキングチャコ(紫色)が残っている場合があります。これは数日程で消えますが、気になる場合は水を付けた布でふくと早く消えます。

- マーキングが残っている場合の消し方

- 1 水をつけた布を軽くしぼります。
- 2 マーキングが残っている箇所を布で軽くたたくようにして濡らします。
※綿等、縮みやすい素材は濡らしすぎないように注意してください。
- 3 マーキングは水とともに蒸発します。

梱包材の処理方法

- 梱包材は取付け場所に残さないようにしてください。
- 梱包材は可燃ゴミと不燃ゴミに分別して処分してください。
- 各自治体により分別基準が異なりますので、それぞれの自治体の規定に従って処理してください。

製品保証書

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
当製品は、厳密な品質管理のもとお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合には、アフターサポート規定に基づき修理をさせていただきます。

保証期間:お買い上げ日より3年間

アフターサポート規定

1. 取扱説明書・本体注意ラベル・タグにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は、無料で修理させていただきます。但し、スクリーン、スラット部は対象外です。また、弊社が指定する消耗部品(コード類)の無料修理サービスはお買い上げから1年以内とさせていただきます。無料修理サービスをご依頼になる場合は、メンテナンスシールをご確認のうえ、お買い上げの販売店へご依頼ください。転居などにより、お買い上げいただいた販売店が不明な場合は、弊社お客様相談室へお問い合わせください。
2. 保証期間内でも次の場合は有料修理サービスとなります。
(イ) 本書の提示が無い場合。
(ロ) お買い上げ後の輸送、落下などによる故障、損傷。
(ハ) 使用上の誤り、又は不当な修理や改造もしくは、純正部品以外の使用による故障、損傷。
(ニ) 火災・地震・雷・風水害その他天災地変など、外部要因による故障及び損傷。
(ホ) 特殊環境(強度の湿気、塩害、薬品のガス、公害)による故障及び損傷。
(ヘ) お買い上げ後の取付け場所の移動による故障及び損傷。
(ト) 当社カタログに記載している仕様以外の製品についての故障及び損傷。
3. 本書は、日本国内においてのみ有効です。

トーソー株式会社 本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9

トーソー株式会社

●お客様相談室 tel.03-3552-1002
本社 〒104-0033 東京都中央区新川1-4-9 ホームページアドレス <http://www.toso.co.jp>